

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2012年5月20日 聖日礼拝

---

プレーヤー・フェロシッブデーに因み  
**「共に集い、共に祈る」**

マタイ18章15-20節

使徒 1章12-14節

**竿代照夫 牧師**



# 聖書朗読

## 新約聖書

### マタイの福音書18章15-20節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp33 / 第三版の聖書はp36

15 また、もし、あなたの兄弟が罪を犯した  
なら、行って、ふたりだけのところで責  
めなさい。もし聞き入れたら、あなたは  
兄弟を得たのです。

16 もし聞き入れないなら、ほかにひとりか  
ふたりをいっしょに連れて行きなさい。  
ふたりか三人の証人の口によって、  
すべての事実が確認されるためです。

17 それでもなお、言うことを聞き入れよう  
としないなら、教会に告げなさい。  
教会の言うことさえも聞こうとしないなら、  
彼を異邦人が取税人のように扱いなさい。

18 まことに、あなたがたに告げます。  
何でもあなたがたが地上でつなぐなら、  
それは天においてもつながれており、  
あなたがたが地上で解くなら、それは  
天においても解かれているのです。

19 まことに、あなたがたにもう一度、告げます。もし、あなたがたのうちふたりが、どんな事でも、地上で心を一つにして祈るなら、天におられるわたしの父は、それをかなえてくださいます。

20 ふたりでも三人でも、わたしの名において集まる所には、わたしもその中にいるからです。」

12 そこで、彼らはオリーブという山からエルサレムに帰った。この山はエルサレムの近くにあつて、安息日の道のりほどの距離であつた。

13 彼らは町に入ると、泊まっている屋上の上に上がった。この人々は、ペテロとヨハネとヤコブとアンデレ、ピリポとトマス、バルトロマイとマタイ、アルパヨの子ヤコブと熱心党员シモンとヤコブの子ユダであつた。

14 この人たちは、婦人たちやイエスの母  
マリヤ、およびイエスの兄弟たちとともに、  
みな心を合わせ、祈りに専念して  
いた。

# 説教

プレーヤー・フェロシツプデーに因み

## 「共に集い、共に祈る」

マタイ18章15-20節

使徒 1章12-14節

竿代照夫 牧師





主テキスト：

「あなたがたのうちふたりが、どんな事でも、地上で心を一つにして祈るなら、天におられるわたしの父は、それをかなえてくださいます。

ふたりでも三人でも、わたしの名において集まる所には、わたしもその中にいるからです。」

(マタイ18：19－20)

はじめに

- ・ プレヤーフェロシップデーの意義
- ・ マタイ 18 章の流れ：

迷子の羊の回復（12－14節）

→ 罪を犯した兄弟の回復(15－18節)

→ 共に集まり、共に祈る力(19－20節)

## A. 共に集まる意義（20節）

### 1. 人数に拘わらず「集まること」：

炭は一個では燃えにくい

### 2. 「主の名によって」集まる：

主を崇めるために

### 3. 集まる所におられる主

(マタイ28：20)

## B. 共に祈る力（20節）

1. 地において：目に見える形で

2. 「あなたがたのうちふたり」：

グループ的な集まり

### 3. 心を合わせて祈る：

「一致する」「合意する」

- ・ 一致を齎す要因：
  - ①主への愛と献身
  - ②相互理解
  - ③聖霊への信頼
- ・ 一致を妨げる要因：
  - ①無関心
  - ②プライド
  - ③赦せない心（マタイ5:24-25）

4. どんな課題でも：

主の御心に適うことながら

(1ヨハネ5:14)

5. 天の父の喜びと答え

## C. ペンテコステに向けての祈り (共に祈った実例)

1. 祈りなさいという命令  
(ルカ24：49、使徒1：4－5)
2. 祈った弟子たち（使徒1：15）：  
様々な背景を持ちながら...
3. 心を合わせて真剣に祈った：  
互いの告白も含めて(ヤコブ5：16)
4. 聖霊が注がれた（使徒2：4）

終わりに：

グループでの分かち合いと祈りを  
実践しよう